

履修規定（カリキュラムの一部改定について）

2025年度のカリキュラム一部改定（2024年度内に決定した変更内容）

1.基幹科目	科目名（副題）の変更 以下のとおり副題を変更する。（2025年度より変更） （旧）Humanities Study 4（Literature） ⇒ （新）Humanities Study 4（History）
--------	---

2024年度のカリキュラム一部改定（2023年度内に決定した変更内容）

1.基幹科目	科目の廃止 以下の科目を廃止する。（2025年度より変更） ケンブリッジ・サマープログラム
2.ドイツ文学専修	科目名（副題）の変更 以下のとおり副題を変更する。（2024年度より変更） なお、同一科目であるため、重複履修不可の科目については、 すでに一方の科目の単位を修得済みの場合はもう一方の科目を履修することはできない。 （旧）文学講義 104（ドイツの言語論） ⇒ （新）文学講義 104（現代の言語論） （旧）文学講義 105（インド・ゲルマン語の歴史） ⇒ （新）文学講義 105（言語研究の諸相）
3.文芸・思想専修	2024年度より以下のとおり隔年開講の設定を変更する。 <2024年度より隔年開講の設定を解除> 哲学講義 3(芸術論1) 哲学講義 4(芸術論2) <2024年度より隔年開講に設定> 哲学講義 1（西洋哲学） ⇒ 2024年度休講 哲学講義 6（現代思想の諸問題 2） ⇒ 2024年度開講 科目の廃止（廃止クラス） 卒業論文（制作）・卒業論文（制作）指導演習のうち、以下2クラスを廃止とする。（2024年度より変更） AU787,AU788

2023年度のカリキュラム一部改定（2022年度内に決定した変更内容）

1.基幹科目	科目名（副題）の変更 以下のとおり副題を変更する。（2023年度より変更） なお、同一科目であるため、重複履修不可の科目については、 すでに一方の科目の単位を修得済みの場合はもう一方の科目を履修することはできない。 （旧）SDGs 演習1[環境思想（文献講読）] ⇒ （新）SDGs 演習1[環境思想]
--------	--

2022年度のカリキュラム一部改定（2021年度内に決定した変更内容）

1.基幹科目	科目の廃止 以下の科目を廃止する。（2022年度より変更） 「合同講義 1・2」 「英語文献講読 2～8」 科目の新設 以下の科目を新設する。（2022年度より変更）
--------	--

	「SDGs 演習 1・2」 「SDGs 特論 1～4」 「人文情報・メディア学演習 1・2」 「人文情報・メディア学特論 1～4」 「SDGs 入門」 「人文情報・メディア学入門」
2.キリスト教学科	2022年度より以下の科目を隔年開講とする 「ギリシア語講読 1・2」
3.ドイツ文学専修	科目名（副題）の変更 以下のとおり副題を変更する。（2022年度より変更） なお、同一科目であるため、重複履修不可の科目については、 すでに一方の科目の単位を修得済みの場合はもう一方の科目を履修することはできない。 （旧）文学講義103（ドイツの思想論） ⇒（新）文学講義103（東ドイツの文化） （旧）文学講義106（ドイツの文学論） ⇒（新）文学講義106（ドイツ文学にみるジェンダー文化） （旧）文学講義117（ハプスブルク帝国の文化） ⇒（新）文学講義117（ドイツと異文化） （旧）演習C1・C2（日独比較文化） ⇒（新）演習C1・C2（現代ドイツ語圏文化・ジェンダー文化） （旧）演習C3・C4（都市文化・表象文化） ⇒（新）演習C3・C4（メディア文化・表象文化） （旧）演習C5・C6（メディア文化・ユダヤ文化） ⇒（新）演習C5・C6（日独における越境の文化） （旧）ドイツ文学・文化演習 103（都市文化・表象文化） ⇒（新）ドイツ文学・文化演習103 メディア文化・表象文化 （旧）ドイツ文学・文化演習 105（メディア文化・ユダヤ文化） ⇒（新）ドイツ文学・文化演習 105 ドイツと異文化
3.教育学科	科目名の変更 以下の科目名を変更する。（2022年度より変更） （旧）「情報教育論」 ⇒（新）「教育とメディア」

2021年度のカリキュラム一部改定（2020年度内に決定した変更内容）	
1.基幹科目	科目の新設 以下の科目を新設する。（2021年度より変更） 「SDGsフィールドワーク<グローバル>」「SDGsフィールドワーク<ローカル>」 「Humanities Study 1（History）」「Humanities Study 2（Education）」 「Humanities Study 3（Religion）」「Humanities Study 4（Literature）」 「Humanities Study 5（Literature）」「Humanities Study 6（Literature）」 「音楽と感性」「言葉と感性」 「デジタルアーカイブ論」「テキストマイニング論」 「Humanities Lecture 1（History）」「Humanities Lecture 2（Literature）」
2.フランス文学専修	科目の新設 以下の科目を新設する。（2021年度より変更） 「フランス文学・文化演習 9（フィクション3）」 「フランス文学・文化演習 10（フィクション4）」
3.キリスト教学科	科目の新設 以下の科目を新設する。（2021年度より変更） 「演習A11～18」

2020年度のカリキュラム一部改定（2019年度内に決定した変更内容）	
1.基幹科目	科目の廃止 以下の科目を廃止する。（2021年度より変更） 「音楽学演習 1・2」 「実作・実践研究 1・2」 「実作・実践講義 1・2」 「英語文献講読 9～16」

2.キリスト教学科

科目の廃止

以下の科目を廃止する。(2021年度より変更)

- 「フィールドワーク A 2」
- 「キリスト教学原典講読 1～4」
- 「キリスト教学中級講読 1～3」
- 「キリスト教学講義 3 1 (キリスト教と映画1)」
- 「キリスト教学講義 3 2 (キリスト教と映画2)」

科目の新設

以下の科目を新設する。(2021年度より変更)

- 「キリスト教学入門講義 5」
- 「キリスト教学入門講義 6」

履修登録方法を変更

(2020年度より変更)

「キリスト教学原典講読 5」,「フィールドワークA 1」は,「科目コード登録」から,「その他登録」へ変更する。

科目名の変更

以下の科目名を変更する。(2021年度より変更)

- (旧)「キリスト教学原典講読 5」⇒(新)「キリスト教学特論」
- (旧)「ヘブライ語中級講読」⇒(新)「ヘブライ語講読 1」
- (旧)「ギリシャ語中級講読」⇒(新)「ギリシャ語講読 1」
- (旧)「ギリシャ語原典講読」⇒(新)「ギリシャ語講読 2」
- (旧)「ラテン語中級講読」⇒(新)「ラテン語講読 1」
- (旧)「ヘブライ語原典講読」⇒(新)「ヘブライ語講読 2」
- (旧)「ラテン語原典講読」⇒(新)「ラテン語講読 2」

3.ドイツ文学専修

科目名(副題)の変更

以下のとおり副題を変更する。(2020年度より変更)

なお,同一科目であるため,重複履修不可の科目については,

すでに一方の科目の単位を修得済みの場合はもう一方の科目を履修することはできない。

- (旧)「演習 C3・C4 (身体文化・表象文化)」⇒(新)「演習 C3・C4 (都市文化・表象文化)」
- (旧)「ドイツ文学・文化演習 1 0 3 (身体文化・表象文化)」⇒(新)「ドイツ文学・文化演習 1 0 3 (都市文化・表象文化)」
- (旧)「文学講義 1 1 1 (ゲーテの世界)」⇒(新)「文学講義 1 1 1 (ゲーテの時代)」
- (旧)「文学講義 1 1 2 (身体文化)」⇒(新)「文学講義 1 1 2 (ドイツの近代社会と思想)」
- (旧)「文学講義 1 6 1 (ロマン派時代の文学)」⇒(新)「文学講義 1 6 1 (バロックの文化)」

4.史学科

科目の廃止

以下の科目を廃止する。(2020年度より変更)

- 「専門基礎 1 1 (古文書 1)」
- 「専門基礎 1 2 (古文書 2)」

科目の新設

以下の科目を新設する。(2020年度より変更)

- 「専門基礎 1 7 (古文書・古代)」
- 「専門基礎 1 8 (古文書・中世)」
- 「専門基礎 1 9 (古文書・近世)」

2019年度のカリキュラム一部改定 (2018年度内に決定した変更内容)

1.基幹科目

科目の新設

<p>2.文学科 英米文学専修</p> <p>3.教育学科</p>	<p>以下の科目を新設し、「基幹科目D」、「半期2単位」、「抽選登録科目（定員10名）」とする。 （2019年度より変更） 「Japan in Asian Context」 「Traditional Arts in Japan」 「Postmodern Turn in Japanese Arts」 「Development of Gender Studies」 「Intellectual History of Japan」 （2020年度より変更） 「Christianity in Japan」 「Japanese Literature in the World」</p> <p>履修登録方法の変更 （2019年度より変更） 「ドイツ語文献講読1・2」、「フランス語文献講読1・2」、「英語文献講読1～16」は、「その他登録または抽選登録」から「科目コード登録」へ変更する。 また、「英語文献講読10・12」については「上級レベル」から「中級レベル」に変更する。</p> <p>履修登録方法の変更 （2019年度より変更） 「文学講義29（英語構造論1）」および「文学講義30（英語構造論2）」は、「抽選登録」から、「科目コード登録」へ変更する。</p> <p>科目の廃止 （2020年度より変更） 「現代教育の諸問題3・4」を廃止する。</p>
--	---

2018年度のカリキュラム一部改定（2017年度内に決定した変更内容）	
<p>1.基幹科目</p> <p>2.ドイツ文学専修</p> <p>3.文学科 文芸・思想専修</p>	<p>履修登録方法の変更 （2018年度より変更） 「英語文献講読9, 11, 13, 15」は、上級レベルから中級レベルへ変更となり、それに伴い「その他登録」から、「抽選登録」へ変更になった。</p> <p>配当年次の変更 （2018年度より変更） 「海外フィールドスタディ〈2. 海外ASD〉」および「海外フィールドスタディ〈3. 海外SLV〉」は、配当年次「2・3・4」から「1・2・3・4」へ変更になった。 ※1年次生は既習者に限る</p> <p>科目名（副題）、単位数、配当年次の変更 （2019年度より変更） 科目名を「ドイツ文学・文化演習4（音楽・造形芸術）」⇒「ドイツ文学・文化演習4（日独比較文化タンデム）」に変更する。 単位数を「2単位」⇒「4単位」へ変更する。配当年次を「3・4」から「1・2・3」へ変更する。</p> <p>履修登録方法の変更 （2018年度より変更） 「文学講義407（マンガ／アニメ表現論1）」および「文学講義408（マンガ／アニメ表現論2）」は、「科目コード登録」から、「抽選登録」へ変更になった。 履修中止制度の適用 （2018年度より変更） 「卒業論文（制作）・卒業論文（制作）指導演習」を履修中止制度の適用対象となった。</p> <p>履修中止制度の適用 （2018年度より変更） 「卒業論文（制作）・卒業論文（制作）指導演習」を履修中止制度の適用対象となった。</p>

2017年度のカリキュラム一部改定 (2016年度内に決定した変更内容)

1. 基幹科目

単位数の変更

(2017年度より変更)
「ケンブリッジ・サマープログラム」
通年4単位 ⇒ 通年6単位

(2018年度より変更)
「海外フィールドスタディ〈1. 海外EAP〉」
通年6単位 ⇒ 通年4単位

履修登録方法の変更

(2017年度より変更)
「日本文学概論」は、「科目コード登録」から、「抽選登録」に変更になった。

2. 文学科

フランス文学専修

必修科目履修辞退制度の適用

(2017年度より変更)
指定科目Aは、必修科目履修辞退制度の適用対象になった。

3. 文学科

文芸・思想専修

履修登録方法の変更

(2017年度より変更)
「文学講義417 (現代歌謡論)」は、「科目コード登録」から、「抽選登録」に変更になった。
「卒業論文 (制作) 予備演習」は、「その他登録」から、「自動登録」に変更になった。

4. 史学科

履修登録方法の変更

(2017年度より変更)
「フィールドワーク I 1・2」は、「科目コード登録」から、「その他登録」に変更になった。

5. 教育学科

科目の新設

(2017年度より新設)
「人間と哲学 1」 半期2単位
「人間と哲学 2」 半期2単位
上記2科目は、文芸・思想専修の「哲学概論 1」、「哲学概論 2」と同一科目である。